

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 実用国語

教科：国語

科目：実用国語

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 M1 組～ S 組

教科担当者：（M1組：興津） （M2組：興津） （E組：大島） （A組：興津） （S組：興津）

使用教科書：（ 第一学習社 標準文学国語 ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 実用国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	近代の小説（二） 【知識及び技能】 文学的な文章の種類や特徴について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、人が虎になるという怪異の意味を踏まえて作品の主題を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・中島敦 『山月記』 ・文学のしるべ 「『山月記』以外の中島敦に出会う」			○	・文学的な文章の種類や特徴について理解を深めている。 ・表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、人が虎になるという怪異の意味を踏まえて作品の主題を考えている。 ・学習の見通しをもって登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。	○		○	12
	定期考査						○	○		1
	現代の小説（一） 【知識及び技能】 文学的な文章の種類や特徴について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「少年」との交流による「私」の心理の変化と、デュークの死を受け入れるまでの過程を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・江國香織 『デューク』 ・文学のしるべ 「世界と向き合う物語」			○ ○	・文学的な文章の種類や特徴について理解を深めている。 ・「少年」との交流による「私」の心理の変化と、デュークの死を受け入れるまでの過程を読み取っている。 ・学習の見通しをもって「私」の行動を整理し、「少年」との交流を通して「私」の心情がどう変化しているかを粘り強く捉えようとしている。		○	○ ○	7
	現代の小説（二） 【知識及び技能】 文学的な文章の種類や特徴について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の発言から表に現れない心情を読み取り、人間の関係性の深淺について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・井上ひさし 『ナイン』 ・文学のしるべ 「ユーモアと風刺の業師」			○ ○	・文学的な文章の種類や特徴について理解を深めている。 ・登場人物の発言から表に現れない心情を読み取り、人間の関係性の深淺について考察している。 ・学習の見通しをもって、場面の移り変わりや登場人物の発言を粘り強く読み取り、それぞれの人間関係を捉えようとしている。	○		○ ○	7
	定期考査						○	○		1
2 学 期	近代の小説（一） 【知識及び技能】 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 物語の展開と出来事を整理しながら、「私」と「K」それぞれの心情をつかむことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・夏目漱石 『こころ』			○	・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解している。 ・物語の展開と出来事を整理しながら、「私」と「K」それぞれの心情をつかんでいる。 ・学習の見通しをもって場面ごとの展開を粘り強く読み取り、登場人物の心情とその変化について理解を深めようとしている。	○		○ ○	12
	定期考査						○	○		1
	現代の小説（三） 【知識及び技能】 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな文芸的話題や引用が散りばめられた作品を読んで、小説の奥深さとおもしろさを味わうことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・中島京子 『富嶽百景』			○	・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解している。 ・さまざまな文芸的話題や引用が散りばめられた作品を読んで、小説の奥深さとおもしろさを味わおうとしている。 ・学習の見通しをもって表現に着目しながら積極的に作品を読み取り、理解を深めようとしている。	○		○ ○	10

3 学 期	創作をする 【知識及び技能】 言葉には、想像や心情を豊かにすることはたつきがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文体や表現の技法に注意して、人物の心情や情景を描写することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・佐藤雅彦 物語を創造する（物語を発現する力）	○ ○	・文体の特徴や表現の技法について理解し、活用する方法を学んでいる。 ・文体や表現の技法に注意して、人物の心情や情景を描写している。 ・本文中の例を参考にして、学習課題に沿って積極的に物語を創作しようとしている。	○ ○ ○	8
	定期考査				○ ○	1
	創作をする 【知識及び技能】 文体の特徴や表現の技法について理解し、活用する方法を学ぶことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 短歌・俳句を読んで文体や表現の技法に注意して、人物の心情や情景を描写することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・言語活動 テーマを決めて短歌・俳句を作る	○ ○	・文体の特徴や表現の技法について理解し、活用する方法を学んでいる。 ・同じ題材で短歌、俳句を創作し、批評し合っている。 ・学習の見通しをもって教科書に示された短歌・俳句から文体や表現の技法を参考にし、積極的に短歌や俳句を創作しようとしている。	○ ○ ○	8
					合計	68

高等学校 令和6年度（3学年用）教科

数学

科目 数学Ⅱ

教科： 数学

科目： 数学Ⅱ

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 M1 組～ S 組

教科担当者：（M1組：宮本）（M2組：宮本）（E組：宮本）（A組：宮本）（S組：宮本）（組：）

使用教科書：（ 高等学校 数学Ⅱ 数研出版 ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 指数関数 【知識及び技能】 指数法則を使い、計算することができる。 指数関数の値の変化、グラフの特徴を理解し、問題を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 指数関数の式とグラフの関係を多面的に考察することができる。 事象を数学的に捉え問題を解決することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 指数関数のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導項目 指数の拡張 指数関数 ・教材 高等学校 数学Ⅱ（数研出版） REPEAT 数学Ⅱ+B（数研出版） ・一人1台端末の活用 教科書の動画コンテンツや課題の提出など	【知識・技能】 ○指数が整数の場合の累乗の定義を理解し、累乗の計算や、指数法則を利用した計算をすることができる。 ○累乗根の定義を理解し、累乗根の計算ができる。 ○指数が有理数の場合の累乗の定義を理解し、累乗の計算や、指数法則を利用した計算をすることができる。また、累乗根を含む計算では、分数指数を利用して計算することができる。 ○指数が無理数の場合の累乗根の意味を理解することができる。 ○指数関数のグラフの概形、特徴を理解している。 ○底と1の大小に注意して、指数関数を含む不等式を解くことができる。 ○ $a^x > 0$ に注意して、おき換えによって指数方程式・不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ○指数法則が成り立つように、指数の範囲を正の整数から実数にまで拡張していることを理解している。 ○累乗根をグラフによって考察することができる。 ○指数関数 $y=a^x$ のグラフが定点(0, 1)を通ることを理解している。 ○指数関数の増減によって、大小関係や不等式・方程式を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○累乗根の性質に興味を示し、具体的に証明しようとする。 ○負の数のn乗根に興味を示し、具体的に理解しようとする。 ○指数関数のグラフの概形を、点をプロットしてかこうとする意欲がある。	○	○	○	6
	単元 対数関数① 【知識及び技能】 対数の性質、簡単な対数の計算 【思考力、判断力、表現力等】 指数と対数を相互に関連付けて考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 対数関数のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導項目 対数とその性質 ・教材 高等学校 数学Ⅱ（数研出版） REPEAT 数学Ⅱ+B（数研出版） ・一人1台端末の活用 教科書の動画コンテンツや課題の提出など	【知識・技能】 ○指数と対数とを相互に書き換えることができる。 ○対数の定義を理解し、対数の値を求めることができる。 ○対数の性質に基づいた種々の対数の値の計算ができる。 ○底の変換公式を等式として利用できる。 【思考・判断・表現】 ○対数 $\log_a M$ が $M=a^p$ を満たす指数 p を表していることを理解している。 ○指数法則から、対数の性質を考察することができる。 ○対数と指数の関係から、両者のグラフが互いに直線 $y=x$ に関して対称であるという見方ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○指数と対数との相互関係に興味・関心をもつ。	○	○	○	2
	定期考查			○	○		1
	単元 対数関数② 【知識及び技能】 対数関数の値の変化、グラフの特徴 【思考力、判断力、表現力等】 対数関数の式とグラフの関係を多面的に考察すること。 事象を数学的に捉え問題を解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 対数関数のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導項目 対数関数 常用対数 ・教材 高等学校 数学Ⅱ（数研出版） REPEAT 数学Ⅱ+B（数研出版） ・一人1台端末の活用 教科書の動画コンテンツや課題の提出など	【知識・技能】 ○対数関数のグラフの概形、特徴を理解している。 ○底と1の大小に注意して、対数関数を含む不等式を解くことができる。 ○対数の性質を用いる際に、真数が正であることに着目できる。 ○おき換えによって関数の最大・最小問題を解くことができる。 ○正の数を $a \times 10^n$ の形に表現して、対数の値を求めることができる。 ○常用対数の定義を理解し、それに基づいて種々の値を求めることができる。 ○常用対数を利用して、桁数の問題や小数首位問題などを解くことができる。 【思考・判断・表現】 ○対数と指数の関係から、両者のグラフが互いに直線 $y=x$ に関して対称であるという見方ができる。 ○対数関数 $y=\log_{a^b} x$ のグラフが定点(1, 0)を通ることを理解している。 ○対数関数の増減によって、大小関係や方程式・不等式を考察することができる。 ○n桁の数、小数首位第n位の数を、不等式で表現することができる。	○	○	○	5

			【主体的に学習に取り組む態度】 ○やや複雑な対数方程式、対数不等式に積極的に取り組もうとする。 ○桁数や小数首位の問題を一般的に考察しようとする。				
	定期考査			○	○		1
2 学 期	単元 微分係数と導関数 【知識及び技能】 関数の平均変化率の意味を考え、その極限として関数の変化率すなわち微分係数を導入し、さらに導関数を定義する。また、グラフの接線の傾きと対比させて、微分係数の意味を具体的に理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 関数とその導関数との関係について考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 微分係数や導関数のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。	・指導項目 微分係数 導関数とその計算 接線の方程式 ・教材 高等学校 数学Ⅱ（数研出版） REPEAT 数学Ⅱ＋B（数研出版） ・一人1台端末の活用 教科書の動画コンテンツや課題の提出など	【知識・技能】 ○極限値を計算して微分係数を求めるとき、分母の h は0でないことを理解している。 ○平均変化率、微分係数の定義を理解し、それらを求めることができる。 ○微分係数の図形的意味を理解している。 ○定義に基づいて導関数を求める方法を理解している。 ○導関数の性質を利用して、種々の導関数の計算ができる。 ○導関数を利用して微分係数が求められることを理解している。また、微分係数の値などから関数を決定することができる。 ○接点の x 座標が与えられたとき、接線の方程式を求めることができる。 ○接線の方程式の公式を利用して、接線の方程式を求めることができる。 ○曲線外の点から曲線に引いた接線の方程式の求め方を理解している。 【思考・判断・表現】 ○平均変化率における x の変化量 h は負でもよいことを理解している。 ○導関数を表す種々の記号を理解していて、それらを適切に使うことができる。 ○定点Cから曲線に接線を引くとき、接点Aにおける接線が点Cを通ると読み替えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○接線の傾きと微分係数との関連を図形的に考察しようとする。 ○関数 x^n の導関数について、二項定理を用いた証明に興味をもち、考察しようとする。 ○曲線外の点から曲線に引いた接線の方程式を求めようとする。	○	○	○	6
	単元 関数の値の変化① 【知識及び技能】 関数の値の増減、極大・極小、グラフの概形 【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に捉え問題を解決すること 【学びに向かう力、人間性等】 関数の増減と極大・極小の考え方のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。	・指導項目 関数の増減と極大・極小 ・教材 高等学校 数学Ⅱ（数研出版） REPEAT 数学Ⅱ＋B（数研出版） ・一人1台端末の活用 教科書の動画コンテンツや課題の提出など	【知識・技能】 ○導関数を利用して、関数の増減を調べることができる。 ○関数の増減や極値を調べるのに、増減表を書いて考察している。 ○導関数を利用して、関数の極値を求めたり、グラフをかくいたりすることができる。 ○関数の極値が与えられたとき、関数を決定することができる。 【思考・判断・表現】 ○接線の傾きで関数の増減が調べられることを理解している。 ○ $f'(a) \neq 0$ は、 $f(a)$ が極値であるための必要条件ではあるが、十分条件ではないことを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○関数の増減や極値を調べ、3次関数のグラフ、4次関数のグラフをできるだけ正しくかこうとする。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	単元 関数の値の変化② 【知識及び技能】 関数の値の増減、極大・極小、グラフの概形 【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に捉え問題を解決すること 【学びに向かう力、人間性等】 関数の増減と極大・極小の考え方のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。	・指導項目 関数の増減・グラフの活用 ・教材 高等学校 数学Ⅱ（数研出版） REPEAT 数学Ⅱ＋B（数研出版） ・一人1台端末の活用 教科書の動画コンテンツや課題の提出など	【知識・技能】 ○導関数を利用して、関数の最大値・最小値を求めることができる。 ○最大・最小の応用問題では、変数のとり方、定義域に注意して解くことができる。 ○導関数を利用して、方程式の実数解の個数問題、不等式の証明問題を解くことができる。 ○不等式 $f(x) \geq 0$ を、関数 $y=f(x)$ の最小値が0以上と読み替えることができる。 【思考・判断・表現】 ○最大値・最小値と極大値・極小値の違いを、意識して考察できる。 ○方程式の実数解の個数を、関数のグラフと x 軸の共有点の個数に読み替えて考察できる。 ○不等式を、関数のグラフと x 軸との上下関係に読み替えて、考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○身近にある最大値・最小値の問題を、微分法を利用して解決しようとする。 ○方程式や不等式を関数的視点で捉え、微分法を利用して解決しようとする。	○	○	○	3
	単元 積分法① 【知識及び技能】 不定積分 定積分 定積分と面積① 【思考力、判断力、表現力等】 直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 積分のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。	・指導項目 不定積分 定積分 定積分と面積① ・教材 高等学校 数学Ⅱ（数研出版） REPEAT 数学Ⅱ＋B（数研出版） ・一人1台端末の活用 教科書の動画コンテンツや課題の提出など	【知識・技能】 ○不定積分の計算では、積分定数を書き漏らさずに示すことができる。 ○不定積分の定義や性質を理解し、それを利用する不定積分の計算方法を理解している。 ○与えられた条件を満たす関数を、不定積分を利用して求めることができる。 ○定積分の定義や性質を理解し、それを利用する定積分の計算方法を理解している。 ○定積分は定数であることを理解し、それを利用して、定積分を含む関数を求めることができる。 ○上端が変数 x である定積分で表された関数を微分して処理することができる。 ○直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分で表して求めることができる。				

			【思考・判断・表現】 ○微分法の逆演算としての不定積分を考察することができる。 ○定積分の性質の等式を、左辺から右辺、右辺から左辺への変形として利用できる。 ○上端が x である定積分を、x の関数とみることができる。 ○面積を求める際には、グラフの上下関係、積分範囲などを、図をかくて考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○積分法が微分法の逆演算であることから、不定積分を求めようとする。 ○定積分の性質を利用して、計算がなるべく簡単になるように工夫して計算しようとする意欲がある。 ○面積 $S(x)$ が関数 $f(x)$ の原始関数の1つであることに興味・関心をもち、考察しようとする。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
3 学 期	単元 積分法② 【知識及び技能】 不定積分、定積分 【思考力、判断力、表現力等】 直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 積分のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。	・指導項目 定積分と面積② ・教材 高等学校 数学Ⅱ（数研出版） REPEAT 数学Ⅱ+B（数研出版） ・一人1台端末の活用 教科書の動画コンテンツや課題の提出など	【知識・技能】 ○上下関係が入れ替わる2つの曲線で囲まれた部分の面積を求めることができる。 ○絶対値のついた関数の定積分の計算方法を理解している。 【思考・判断・表現】 ○図形の対称性に着目した面積計算をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分を用いて求めようとする。	○	○	○	4
	単元 三角関数 【知識及び技能】 三角関数の値の変化、グラフの特徴を理解し、グラフをかくことができる 【思考力、判断力、表現力等】 三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察すること 【学びに向かう力、人間性等】 三角関数のグラフについて、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。	・指導項目 三角関数のグラフ ・教材 高等学校 数学Ⅱ（数研出版） REPEAT 数学Ⅱ+B（数研出版） ・一人1台端末の活用 教科書の動画コンテンツや課題の提出など	【知識・技能】 ○いろいろな三角関数のグラフのかき方と周期の求め方を理解している。 ○$y=\sin(k\theta+\alpha)$ の形の関数の式を適切に変形して、グラフや周期を考察することができる。○点が満たす条件から得られた方程式を、図形として考察することができる。 【思考・判断・表現】 ○単位円上の点の動きから、三角関数のグラフを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○$y=\sin\theta$ と $y=\cos\theta$ のグラフが同じ形の曲線であることに興味・関心をもつ。 ○周期関数に興味をもち、その性質を調べようとする。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
							合計
							44

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学C

教科 科： 数学

科目： 数学C

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 M1 組～ S 組

教科担当者：（M1組：宮本）（M2組：宮本）（E組：宮本）（A組：宮本）（S組：宮本）（組：）

使用教科書：（高等学校 数学C 数研出版）

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学C

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 ベクトルとその演算 【知識及び技能】 平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、ベクトルの成分表示 ベクトルの内積 【思考力、判断力、表現力等】 ベクトルの演算法則を考察する 平面図形の性質を見出したり、多面的に考察したりする 【学びに向かう力、人間性等】 指数関数のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導項目 ベクトル ベクトルの演算 ベクトルの成分 ベクトルの内積 三角形の内積 ・教材 高等学校 数学C（数研出版） 3TRIAL 数学C（数研出版） ・一人1台端末の活用 教科書の動画コンテンツや課題の提出など	【知識・技能】 ○有向線分を用いたベクトルの定義や表し方を理解している。 ○ベクトルの和の計算ができる。 ○ベクトルの実数倍の定義を理解し、式で表現できる。 ○ベクトルの平行条件を理解し、平行なベクトルを求めることができる。 ○平面上のベクトルが2つのベクトルの線形和で1通りに表されることを理解し、具体的なベクトルを2つのベクトルで表すことができる。 ○ベクトルの成分表示の仕組みを理解し、具体的なベクトルを成分表示できる。また、そのベクトルの大きさを求めることができる。 ○成分表示されたベクトルの計算ができる。 ○点の座標とベクトルの成分の関係を理解し、2点で定められるベクトルを成分表示できる。 ○ベクトルの内積の定義を理解し、内積を求めることができる。 ○成分表示されたベクトルの内積を求めることができる。 ○成分表示された2つのベクトルのなす角を、内積を用いて求めることができる。 ○ベクトルの垂直条件を理解し、成分を定めることができる。 【思考・判断・表現】 ○ベクトルの相等や逆ベクトルの定義を理解し、図の中から探すことができる。 ○ベクトルの和の定義を理解し、それを図示できる。 ○ベクトルの差の定義を理解し、それを図示できる。 ○ベクトルの和、差、実数倍の定義をもとに、それらを組み合わせたベクトルの図示ができる。 ○ベクトルの実数倍の性質をもとに、ベクトルの演算ができる。 ○ベクトルの平行条件を成分表示にも適用し、成分を定めることができる。 ○点の座標とベクトルの成分の関係を、座標平面上の図形の問題に活用できる。 ○ベクトルの垂直条件を活用して、与えられたベクトルに垂直なベクトルを求めることができる。 ○内積の性質を用いて、等式を証明したり、ベクトルの大きさやなす角を求めたりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○日常の量で、向きと大きさをもつものがあることに興味をもち、それをベクトルで表現しようとする。 ○ベクトルの演算に興味をもち、数式の演算法則との類似点を考察しようとする。 ○成分表示されたベクトルの演算法則を、ベクトルの演算法則から導き出そうとする。 ○内積の性質を、既習の知識を用いて証明しようとする。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	単元 ベクトルと平面図形 【知識及び技能】 位置ベクトル 【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に捉え問題解決に活用する 【学びに向かう力、人間性等】 位置ベクトルのよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導項目 位置ベクトル ベクトルの図形への応用 図形のベクトルによる表示 ・教材 高等学校 数学C（数研出版） 3TRIAL 数学C（数研出版） ・一人1台端末の活用 教科書の動画コンテンツや課題の提出など	【知識・技能】 ○点の位置を、基準となる点と1つのベクトルを用いて表すことができることを理解している。 ○ベクトルを点の位置ベクトルで表すことができる。 ○内分点、外分点の位置ベクトルを求めることができる。 ○位置ベクトルを活用して、3点が一直線上にあることを証明できる。 ○直線のベクトル方程式について、媒介変数を用いて表すことができる。 ○通る1点と法線ベクトルから直線が定まることを理解し、具体的に直線の方程式を求めることができる。 ○円のベクトル方程式から、その中心の位置ベクトルや半径を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○位置ベクトルを活用して、図形の性質が考察できる。 ○位置ベクトルの一意性を利用して、線分の交点の位置ベクトルを求めることができる。 ○ベクトルの内積を活用して、図形の性質を証明できる。 ○点が線分AB上に存在する条件を活用して、点Pの存在範囲を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○三角形の3本の中線が1点で交わるのが、重心の位置ベクトルを求める過程で証明できることに興味をもち、それを確かめようとする。 ○様々な図形の考察にベクトルを活用しようとする。 ○図形のベクトル方程式について、点の座標 (x, y) についての方程式と関連させて考察し、それらの共通点などを見出そうとする。	○	○	○	7
	単元 空間のベクトル① 【知識及び技能】 座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できること	・指導項目 空間の点 空間のベクトル ベクトルの成分	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				

	【思考力、判断力、表現力等】 ベクトルの演算法則を考察する。 空間図形の性質を見出したり、多面的に考察したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 空間ベクトルのよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・教材 高等学校 数学C（数研出版） 3TRIAL 数学C（数研出版） ・一人1台端末の活用 教科書の動画コンテンツや課題の提出など		○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
2 学 期	単元 空間のベクトル② 【知識及び技能】 座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できること 【思考力、判断力、表現力等】 ベクトルの演算法則を考察する。 空間図形の性質を見出したり、多面的に考察したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 空間ベクトルのよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導項目 ベクトルの内積 ベクトルの図形への応用 座標空間における図形 ・教材 高等学校 数学C（数研出版） 3TRIAL 数学C（数研出版） ・一人1台端末の活用 教科書の動画コンテンツや課題の提出など	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学 期	単元 複素数平面 【知識及び技能】 放物線、楕円、双曲線 曲線の媒介変数表示 極座標及び極方程式 複素数平面と複素数の極形式、図形的な意味 ド・モアブルの定理 【思考力、判断力、表現力等】 放物線、楕円、双曲線を相互に関連付けて捉え、考察すること 複素数の演算や累乗根などの意味を考察すること 事象を数学的に捉え問題解決に活用する 【学びに向かう力、人間性等】 複素数平面の考え方のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。	・指導項目 複素数平面 複素数の極形式 ド・モアブルの定理 複素数と図形 ・教材 高等学校 数学C（数研出版） 3TRIAL 数学C（数研出版） ・一人1台端末の活用 教科書の動画コンテンツや課題の提出など	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	単元 式と曲線 【知識及び技能】 放物線、楕円、双曲線 曲線の媒介変数表示 極座標及び極方程式 複素数平面と複素数の極形式、図形的な意味 ド・モアブルの定理 【思考力、判断力、表現力等】 放物線、楕円、双曲線を相互に関連付けて捉え、考察すること 複素数の演算や累乗根などの意味を考察すること 事象を数学的に捉え問題解決に活用する 【学びに向かう力、人間性等】 複素数平面の考え方のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。	・指導項目 放物線 楕円 双曲線 2次曲線の平行移動 2次曲線と直線 2次曲線の性質 ・教材 高等学校 数学C（数研出版） 3TRIAL 数学C（数研出版） ・一人1台端末の活用 教科書の動画コンテンツや課題の提出など	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
							合計
							48

蔵前工科高等学校 令和6年度（3学年用） 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ 単位数 単位

対象学年組：第 3 学年 MI 組～ S 科

教科担当者：（M1組：鶴田）（M2組：鶴田）（E科：鶴田）（A科：鶴田）（S科：松本）

使用教科書：（All Aboard! English CommunicationⅡ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目	英語コミュニケーションⅡ	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語Ⅰで学んだことを使い、多くの支援を活用すれば日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手や書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。	日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったり、文章を書いて伝えたりすることができる。	日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取ろうとしたり、話し手や書き手の意図を把握しようとしたり、概要や要点を目的に応じて捉えようとしたり、また基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えようとしたり、文章を書いて伝えようとしたりすることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕	書					
1 学 期	Lesson 6 Seeds for Future Generations 【知識及び技能】 [知識]動詞の目的語になるif節を用いた文の形・意味を理解している。また、京野菜について学んだり、京野菜のポスターに書かれた事柄や地元の有名な場所やものについて調べた事柄を整理・理解している。 [技能]動詞の目的語になるif節の理解をもとに、京野菜について学んだり、地元の有名な場所やものについて自分で調べた事柄を用いて、地元の有名な場所やものについて紹介するポスターを作成して、考えや情報などを話して伝え合う技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 伝統野菜に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、地元の有名な場所やものについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや情報などを話したり書いたりして伝え合っている。 【学びに向かう力、人間性等】 伝統野菜に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、地元の有名な場所やものについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや情報などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。	【題材内容】 海外の高校生に向けた、伝統野菜についてのグループ発表を通して、伝統の継続について考える。 [言語材料] 動詞の目的語になるif節 [言語活動] 地元で有名な場所やものについて、英語で説明することができる。	○	○	○	○	○	【知識技能】 [知識] 動詞の目的語になるif節を用いた文の形・意味を理解している。 [技能] 動詞の目的語になるif節の理解をもとに、高校の部活動による京野菜についてのグループ発表や、京野菜について書かれたポスターの記事の内容を読み取る技能を身につけている。 [思考・判断・表現] 京野菜について学んだり、地元の有名な場所やものについて自分で調べた事柄を用いて、地元の有名な場所やものについて紹介するポスターを作成し、それを使って整理して話している。 [主体的に学習に取り組む態度] 京野菜について学んだり、野菜を育てることについての考えや、京野菜について書かれたポスターの記事を読んで情報などを伝え合おうとしている。	○	○	○	12
	定期考査		○			○		○	○	○	1	
	Lesson 7 Over the Wall 【知識及び技能】 [知識]関係副詞where, whenを用いた文の形・意味を理解している。また、世界中で壁画を描く活動について学んだり、外国の人々と交流する方法について調べた事柄を整理・理解している。[技能]関係副詞where, whenの理解をもとに、世界中で壁画を描く活動について書かれた話の内容を読み取る技能を身につけている。 [思考力、判断力、表現力等] 世界中で壁画を描く活動に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、外国の人々と交流する方法について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。 【学びに向かう力、人間性等】 世界中で壁画を描く活動に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、外国の人々と交流する方法について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。	【題材内容】 世界中で壁画を描く活動についての話をを通して、世界の人々と交流する方法について学習する。 [言語材料] 関係副詞：where, when [言語活動] 世界の人々と交流する方法について、英語で述べることができる。	○	○	○	○	○	【知識技能】 [知識] 関係副詞where, whenを用いた文の形・意味を理解している。[技能] 関係副詞where, whenの理解をもとに、世界中で壁画を描く活動について書かれた話の内容を読み取る技能を身につけている。 [思考・判断・表現] 世界中で壁画を描く活動について学んだり、自分自身を変えることや、外国の人々と交流する方法について自分で調べた事柄を用いて、情報や考えなどを伝え合っている。 [主体的に学習に取り組む態度] 世界中で壁画を描く活動について学んだり、外国の人々と交流する方法について自分で調べた事柄を用いて、外国の人々と交流する方法を整理して話そうとしている。	○	○	○	12
定期考査			○			○		○	○	○	1	

2 学 期	Lesson 8 Inspiration from Nature 【知識及び技能】【知識】知覚動詞を用いた文の形・意味を理解している。また、生物模倣について学んだり、自然界のデザインをヒントに開発された製品について調べた事柄を整理・理解している。【技能】知覚動詞の理解をもとに、生物模倣について学んだり、自然界のデザインをヒントに開発された製品について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報などを話したり書いたりして伝え合っている。 【思考力、判断力、表現力等】生物模倣についてのオンライン講演の授業に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自然界のデザインをヒントに開発された製品について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報などを話したり書いたりして伝え合っている。 【学びに向かう力、人間性等】生物模倣についてのオンライン講演の授業に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自然界のデザインをヒントに開発された製品について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。	【題材内容】生物模倣についてのオンライン講演の授業を通して、自然界のデザインをヒントに開発された製品について学習する。 【言語材料】知覚動詞 【言語活動】自然界のデザインをヒントにした製品について、英語で発表できる。						【知識技能】【知識】知覚動詞を用いた文の形・意味を理解している。 【技能】知覚動詞の理解をもとに、生物模倣についてのオンライン講演の授業や、痛くない注射針について書かれた記事の内容を読み取る技能を身につけている。 【思考・判断・表現】生物模倣について学んだり、痛くない注射針について書かれた記事を読んで、情報などを伝え合っている。 【主体的に学習に取り組む態度】生物模倣について学んだり、自然界のデザインをヒントに開発された製品について自分で調べた事柄を用いて紹介記事を作成し、それを使って整理して話そうとしている。					13
	定期考査			○			○			○	○	○	1
	Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate 【知識及び技能】【知識】使役動詞を用いた文の形・意味を理解している。また、チョコレートをめぐる社会問題とその解決策について学んだり、その問題について調べた事柄を整理・理解している。【技能】使役動詞の理解をもとに、チョコレートをめぐる社会問題とその解決策について学んだり、その問題について自分で調べた事柄を用いて、情報や考えなどを話して伝え合う技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】チョコレートをめぐる社会問題とその解決策に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、チョコレートをめぐる社会問題とその解決策について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。 【学びに向かう力、人間性等】チョコレートをめぐる社会問題とその解決策に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、チョコレートをめぐる社会問題とその解決策について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。	【題材内容】チョコレートをめぐる現実を取り上げた雑誌記事を通して、カカオ農園の実態と児童労働及びその解決策について学習する。 【言語材料】使役動詞 【言語活動】社会的な問題について、英語で意見を述べることができる。						【知識技能】【知識】使役動詞を用いた文の形・意味を理解している。 【技能】使役動詞の理解をもとに、チョコレートをめぐる社会問題とその解決策についての雑誌の記事や、カカオ農園での児童労働の問題についての討論の内容を読み取る技能を身につけている。 【思考・判断・表現】チョコレートをめぐる社会問題とその解決策について学んだり、その問題について自分で調べた事柄を用いて、情報や考えなどを伝え合っている。 【主体的に学習に取り組む態度】チョコレートをめぐる社会問題とその解決策について学んだり、その問題について自分で調べた事柄を用いて、チョコレートをめぐる社会問題について、情報や考えなどを整理して話そうとしている。					13
	定期考査			○			○			○	○	○	1
3 学 期	Lesson 10 Fighting Angel 【知識及び技能】【知識】分詞構文を用いた文の形・意味を理解している。また、ナイチンゲールの生涯について学んだり、人を助ける職業について調べた事柄を整理・理解している。【技能】分詞構文の理解をもとに、ナイチンゲールの生涯について学んだり、人を助ける職業について自分で調べた事柄を用いて、情報や考えなどを話して伝え合う技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】医療と看護の発展に一生を捧げたナイチンゲールの生涯に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、人を助ける職業について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。 【学びに向かう力、人間性等】医療と看護の発展に一生を捧げたナイチンゲールの生涯に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、人を助ける職業について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。	【題材内容】医療と看護の発展に一生を捧げたナイチンゲールの生涯について学習する。 【言語材料】分詞構文 【言語活動】人を助ける職業について、英語で説明することができる。						【知識】分詞構文を用いた文の形・意味を理解している。 【技能】分詞構文の理解をもとに、医療と看護の発展に一生を捧げたナイチンゲールの生涯を紹介する記事の内容を読み取る技能を身につけている。 【思考・判断・表現】ナイチンゲールの生涯について学んだり、人を助ける職業について自分で調べた事柄を用いて、情報や考えなどを伝え合っている。 【主体的に学習に取り組む態度】ナイチンゲールの生涯について学んだり、人を助ける職業について自分で調べた事柄を用いて、人を助ける職業について書こうとしている。					15
	定期考査			○			○			○	○	○	1 合計 70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科： 地理歴史 科目： 地理総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 M1 組～ S 組

教科担当者：（ M1組：竹内 ） （ M2組：竹内 ） （ E組：原島 ） （ A組：原島 ） （ S組：竹内 ）

使用教科書：（ 『地理総合』（実教出版）, 『標準高等地図』（帝国書院） ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の過程について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 世界と日本の歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連などを多面的・多角的に考察し、社会に見られる課題の解決に向けて構想する力や、効果的に説明したり、それらを基に議論できる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 世界と日本の地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現のため、課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多角的な考察や深い理解を通して日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関係する諸事象について、世界の生活文化や、防災、地域や地球的課題への取組の要点などを理解するとともに、地図やGIS（地理情報システム）などを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付けさせる。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連について、位置や分布、場所、人間と自然環境との関連性に着目して、多面的・多角的に考察し、地理的な課題の解決に向けて構想する力や、考えたことを効果的に考察し、それらを基に意見を照らし合わせる力を養わせる。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深めさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	地図や地理情報システムでとらえる現代世界① 【知識及び技能】 方位や時差などについて理解させようとして、日常生活に関連する地図を基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 読図やシステムを活用し、課題を追及したり解決させる活動を行う。	1. 球面と平面 2. 緯度と経度 3. 日常生活のなかの地図	【知識・技能】 方位や時差などについて理解させようとして、日常生活に関連する地図を基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解できている。 【思考・判断・表現】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 システムを活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	地図や地理情報システムでとらえる現代世界② 【知識及び技能】 国内や国家間の結び付きなどについて理解させようとして、地理情報システムの役割や有用性などについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などについて主題を設定し、世界から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代世界の国家間や様々な地域間の結び付きについて課題意識をもち、課題解決のための考察を意欲的に追究させる。	4. 国家の領域 5. 日本の位置と領域 6. 国家間の結び付き 7. モノ・人・情報のグローバル化 8. 世界の交通、物流と日本 9. 観光のグローバル化	【知識・技能】 世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、国内や国家間の結び付きなどについて理解できている。また、地理情報システムの役割や有用性などについて理解できている。 【思考・判断・表現】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などについて主題を設定し、世界から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代世界の国家間や様々な地域間の結び付きについて課題意識をもち、課題解決のための考察を意欲的に追究できている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
	生活文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】 地形の特徴の違いと人々の生活文化との関わりについて理解させるとともに、気候の特徴と関連した人々の生活文化について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な地形で暮らす人々の課題に加え、それぞれの気候の特徴を写真等から読み取り、人々の生活について多面的・多角的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地形条件や気候条件によって生じる生活上の課題について主体的に追究させる。	第1章 生活文化の多様性と国際理解 グループ1 自然環境と生活文化 テーマ①地形と生活文化 1. 山地における人々の生活 2. 平野に展開する人々の生活 3. 海岸地形と人々の生活 テーマ②気候と生活文化 1. 熱帯の気候と生活とのかかわり 2. 乾燥帯の気候と生活とのかかわり 3. 温帯の気候と生活とのかかわり 4. 亜寒帯・寒帯の気候と生活と	【知識・技能】 地形の特徴の違いと人々の生活文化との関わりについて、気候の特徴と関連づけた人々の生活文化について理解できている。 【思考・判断・表現】 様々な地形で暮らす人々の課題に加え、それぞれの気候の特徴を写真等から読み取り、人々の生活について多面的・多角的に考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 地形条件や気候条件によって生じる生活上の課題について主体的に追究できている。	○	○	○	8
	産業の進展によって変化する生活文化 【知識及び技能】 東アジアの経済発展の過程や農業地域の特徴を読み取り、社会変化と関連させて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 都市と農村の社会変化の違いや課題について、多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 東アジアの急速な経済発展について、自らの社会生活に関連する課題について意欲的に考察させる。	グループ② 産業の進展によって変化する生活文化 テーマ①急速な経済発展で揺れ動く人々の暮らし（東アジア） 1 経済の発展・変容とその歴史 2 変化する都市と農村 3 農業と食文化 4 経済発展によってかわる社会 5 産業の進展によってかわる社会 6 現代の諸課題	【知識・技能】 東アジアの経済発展の過程や農業地域の特徴を読み取り、社会変化と特徴と関連させて理解できている。 【思考・判断・表現】 都市と農村の社会変化の違いやそこから見られる課題について、多面的・多角的に考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 東アジアの急速な経済発展について、自らの社会生活に関連する課題について意欲的に追究している。	○	○	○	7

	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	宗教に基づいた生活文化 【知識及び技能】 宗教と結び付いた社会の成立過程について理解させるとともに、ヒンドゥー教についての基本的な特徴を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 宗教と結び付きの深い国々の特徴についてまとめるとともに、人々の生活文化や産業の進展に与えた影響について多面的・多角的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 宗教と社会生活の関連について主体的に考察しようとしている。	グループ③ 宗教に基づいた生活文化 テーマ①ヒンドゥー教と結びつく生活文化（南アジア） 1 宗教と結び付いた社会の成立過程 2 ヒンドゥー教と深くかかわる生活文化 3 産業の発展と宗教とのかかわり 4 宗教・社会の課題と変化	【知識・技能】 宗教と結び付いた社会の成立過程について理解させるとともに、ヒンドゥー教についての基本的な特徴を理解できている。 【思考・判断・表現】 宗教と結び付きの深い国々の特徴についてまとめるとともに、人々の生活文化や産業の進展に与えた影響について多面的・多角的に考察・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 宗教と社会生活の関連について意欲的に追究している。	○	○	○	7
	国家・民族・言語の結び付きと生活文化 【知識及び技能】 ヨーロッパの農業や工業の発達について、読図やグラフの読み取りなどを通じて、地域の生活文化と関連づけて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 言語が異なる民族間での課題や、国家間の格差や多文化共生の観点から協働的に学び考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域間の格差や多文化共生といった課題に対し、身近な課題と関連付けて主体的に追究させる。	グループ④ 国家・民族・言語の結び付きと生活文化 テーマ①国家の統合と生活文化（ヨーロッパ） 1 地域の統合につながる都市の歴史的な結び付き 2 地域の統合の深化・拡大 3 地域の統合と多文化共生 4 地域の統合と農業 5 地域の統合と工業	【知識・技能】 ヨーロッパの農業や工業の発達について、読図やグラフなどを通じて特徴を読み取り、地域の生活文化と関連づけて理解できている。 【思考・判断・表現】 言語が異なる民族間での課題や、国家間の格差や多文化共生の観点から協働的に学び、考察・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヨーロッパでの地域間の格差や多文化共生といった課題に対し、身近な課題と関連付けて主体的に追究している。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
	帝国主義の発展 【知識及び技能】 移民国家の歴史的背景を理解させるとともに、地図や諸資料の読み取りを基に移民が関係する産業や労働について、基本的な内容を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 移民の生活文化や移民差別、労働問題などに対する課題について、多面的・多角的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 移民にかかわる課題について、アメリカ社会の構造的な側面にも視点を広げ、意欲的に追究させる。	グループ⑤ 移民とともに形成された生活文化 テーマ① 移民国家の形成と生活文化（北アメリカ） 1 移民国家が形成された歴史的背景 2 移民国家の発展と人々の生活 3 移民に支えられる農業とアグリビジネスの発展 4 移民が支えた工業と情報通信技術産業の発展	【知識・技能】 移民国家の歴史的背景を理解させるとともに、地図や諸資料の読み取りを基に移民が関係する産業や労働について、基本的な内容を理解できている。 【思考・判断・表現】 移民の生活文化や移民差別、労働問題などに対する課題について、多面的・多角的に考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 移民にかかわる課題について、アメリカ社会の構造的な側面にも視点を広げ、意欲的に追究している。	○	○	○	8
	国際秩序の変化や大衆化と私たち 【知識及び技能】 世界の人口問題、食料問題、都市問題の現状を読図やデータなどを通じて読み取らせたと上で、諸問題の課題や特徴を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 地域によって異なる人口問題、食料問題などに着目し、それぞれの地域の特徴や課題などを、グラフや地図などから適切に考察し表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 世界各地で発生している、人口問題や食料問題、都市問題などの現状や課題に対して、意欲的に追究しようとしている。	第2章 地球的課題と国際協力 1 人口問題の展開と対策 2 アンバランスな人口分布 3 食料問題の要因と解決に向けた課題 4 食料問題への取り組み 5 都市・居住問題	【知識・技能】 世界の人口問題、食料問題、都市問題の現状を読図やデータなどを通じて読み取り、諸問題の課題や特徴を理解できている。 【思考・判断・表現】 地域によって異なる人口問題、食料問題などに着目し、それぞれの地域の特徴や課題などを、グラフや地図の読み取りなどを通じて適切に考察し表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界各地で発生している、人口問題や食料問題、都市問題などの現状や課題に対して、意欲的に追究できている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	経済危機と第二次世界大戦 【知識及び技能】 世界のエネルギーに関係する特徴や課題をデータや読図を通して理解させた上で、地球温暖化により引き起こされる災害や社会問題について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 エネルギー問題や地球環境問題の特徴や関連性について、多面的、多角的に考察させた上で、SDGsの達成目標と関連させて多面的・多角的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 生活に身近なエネルギー利用について意欲的に考察させ、様々な地球環境問題と自分との関わりを主体的に追究させる。	第2章 地球的課題と国際協力 6 エネルギー資源の開発と限界 7 新たなエネルギー資源への取り組み 8 地球環境問題：地球温暖化 9 さまざまな場所で発生する地球環境問題 10 地球的課題の解決に向けた国際協力 アクティブ プラスチックごみを考えてみよう	【知識・技能】 世界のエネルギーに関係する特徴や課題をデータや読図を通して読み取り、地球温暖化により引き起こされる災害や社会問題について理解することができる。 【思考・判断・表現】 エネルギー問題や地球環境問題の特徴や関連性について、多面的、多角的に考察させた上で、SDGsの達成目標と関連させて多面的・多角的に考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活に身近なエネルギー利用について意欲的に考察させ、様々な地球環境問題と自分との関わりを主体的に追究している。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 物理基礎

教 科： 理科 科 目： 物理基礎 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 機械科 1 組、機械科 2 組、電気科、建築科、設備工業科

教科担当者：（機械科 1 組、建築科、設備工業科：長沼 七海）（機械科 2 組、電気科：入船 寛子）

使用教科書：（「高校物理基礎」実教出版）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物体の運動とさまざまなエネルギーについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けるとともに、物体の運動とさまざまなエネルギーに関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。	物体の運動とさまざまなエネルギーに関する事物・現象の中に問題をみだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動とさまざまなエネルギーについて関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・直線運動における変位、速度、加速度などの運動の表し方を理解する。 ・相対速度や速度の合成の学習を通して、速度がベクトル量であることを理解する。	1章 物体の運動 1節 運動の表し方 1 速さとその表し方 2 等速直線運動 3 速さと速度、変位 4 速度の合成と相対速度	・相対速度を求めることができる。 ・合成速度を求めることができる。 ・速度を実験器具を使って測定しながら運動を解析し、量的な関係をとらえることができる。 ・実験を通じて、斜面を滑り降りる台車の加速度を調べようとする。	○	○	○	6
	・等加速度運動における「時間と変位」「時間と速度」の関係を理解する。 ・空気抵抗がなければ、質量や体積によらず、一様に自由落下運動をすることを理解する。 ・自由落下運動や鉛直投げ下ろし運動、鉛直投げ上げ運動の「時間」「速度」「変位」の関係式を理解する。 ・水平投射運動や斜方投射運動について定性的に理解する。	1章 物体の運動 1節 運動の表し方 5 加速度 6 等加速度直線運動 7 自由落下運動・鉛直投げ下ろし運動 8 鉛直投げ上げ運動・水平投射運動	・等加速度運動の式を用いて、時間・変位・速度をそれぞれ求めることができる。 ・自由落下運動など、重力による物体の運動について、時間・変位・速度をそれぞれ求めることができる。 ・変位や速度、加速度といった、運動の基礎となる量を理解し、それらを組みあわせて運動を物理的に理解できる。 ・日常見かける物体の加速度運動をもとに、速度の変化と加速度の関係について、調べようとする。 ・加速度を実験器具を使って測定しながら運動を解析し、量的な関係をとらえることができる。	○	○	○	10
	・力とは何か理解する。 ・重さと質量の違いを理解する。 ・固体には弾性があり、一般にはフックの法則に従うことを理解する。 ・力の合成、分解、つりあいなど、力の性質を理解する。 ・作用反作用の法則を理解する。 ・摩擦力、抵抗力、浮力などのさまざまな力について理解する。	1章 物体の運動 2節 力と運動の法則 1 力 2 力の合成・分解 3 力のつりあい 4 作用反作用 5 慣性の法則	・フックの法則を用いて、ばねの変位と復元力の大きさのをそれぞれ求めることができる。 ・つりあいの関係にある力と作用反作用の関係にある力を判別できる。 ・物体が受ける力を「AがBから受ける力」と説明できる。 ・力の性質をもとに、力がはたらいたときの物体の運動のようすを調べようとする。	○	○	○	11
	・慣性の法則を理解する。 ・力と加速度の関係を理解し、運動の法則を理解する。 ・運動方程式を立てて、物体の運動のようすを調べる。	1章 物体の運動 2節 力と運動の法則 6 運動の法則（力と加速度の関係） 7 運動の法則（質量と加速度の関係） 8 運動方程式 9 摩擦力 10 圧力と浮力	・力と加速度の関係、質量と加速度の関係から、運動方程式を導くことができる。 ・運動の原因となる力をさぐる過程を通して運動の法則を理解し、さらに未知の運動を解くことができる。 ・動きを調べる際の基準点を変えても、運動を正しく表現できる。 ・摩擦力などがはたらく場合の物体の運動のようすがわかる。 ・運動に関する物理量の量的関係と向きに関する関係を理解し、運動の法則に基づき、さまざまな運動の規則性を見つけることができる。 ・運動の法則に基づき、さまざまな運動を理解し、物体の位置や速度を予測できる。 ・実験を通じて、力と加速度、質量と加速度の関係を調べようとする。	○	○	○	11
	・エネルギーと仕事の基礎概念を理解する。 ・仕事と仕事率について理解する。 ・運動エネルギーと位置エネルギーについて理解し、一定の条件のもとで力学的エネルギーが保存することを理解する。	2章 エネルギー 1節 運動とエネルギー 1 仕事 2 仕事の性質と仕事率 3 運動エネルギー 4 位置エネルギー 5 力学的エネルギー保存の法則	・仕事の物理的な意味を理解し、求めることができる。 ・エネルギーという概念を理解し、物理現象をエネルギーの観点から求めることができる。 ・運動について個々の物理量の量的関係を理解し、求めることができる。 ・実験を通じて、速度や力といった直接測定できる量を組みあわせ、運動エネルギーなどの新たな量的関係を類推しようとする。 ・ものを楽に運ぶ工夫、道具の使い方などを比較し、仕事をする能力について量的法則性があることを理解できる。 ・運動についての事象に共通するエネルギーという考え方を理解できる。	○	○	○	11

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科： 保健体育 科目： 体育 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 MI 組～ S 組

教科担当者： 渡辺・伊坂・内野・永沢

使用教科書：（ 現代高等保健体育：大修館書店 ）

教科 保健体育 の目標： 生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続させるための資質・能力を育成する。

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標： 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	E 球技 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 【思考力・判断力・表現力】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	○指導事項 ・サッカー ・硬式テニス ・バスケットボール ・バドミントン 上記の中から種目を選択 ○教材 ・教科書、プリント、各用具 ○一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保している。	○	○	○	32
	D 水泳 【知識及び技能】 ・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができるようにする。 【思考力・判断力・表現力】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができるようにする。	○指導事項 ・4泳法 ○教材 ・教科書、プリント、各用具 ○一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 ・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保している。	○	○	○	8
2 学 期	D 水泳 【知識及び技能】 ・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができるようにする。 【思考力・判断力・表現力】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができるようにする。	○指導事項 ・4泳法 ○教材 ・教科書、プリント、各用具 ○一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 ・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保している。	○	○	○	8

7 期	E 球技 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 【思考力・判断力・表現力】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	○指導事項 ・サッカー ・硬式テニス ・バスケットボール ・バドミントン ○教材 ・教科書、プリント、各用具 ○一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保している。	○	○	○	32
	E 球技 【知識及び技能】 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 【思考力・判断力・表現力】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	○指導事項 ・サッカー ・硬式テニス ・バスケットボール ・バドミントン ○教材 ・教科書、プリント、各用具 ○一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保している。	○	○	○	25
3 学 期							合計
							105